

SOGI研究会

代表者：先端総合学術研究科一貫制博士課程8回生 OUYANG Shanshan
指導教員（2025年度）：阿部朋恒先生

研究会の紹介 本研究会は、あらゆる形のSOGI差別に強く反対します！

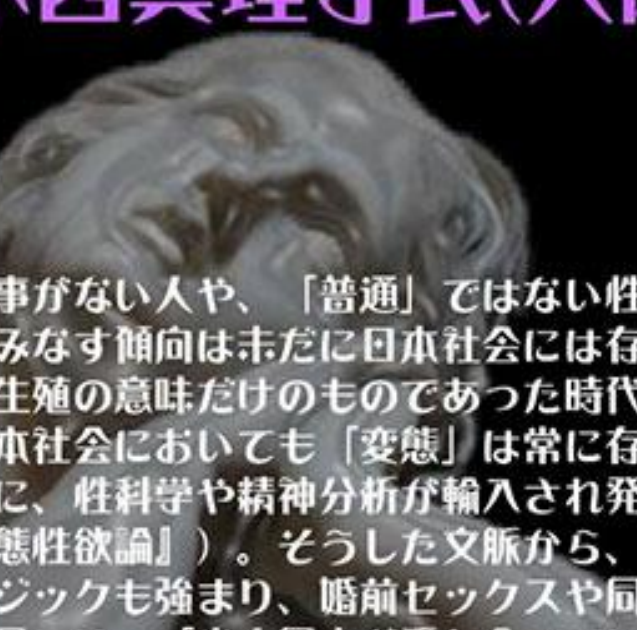
SOGI（Sexual Orientation and Gender Identity）とは、性的指向とジェンダー・アイデンティティのことを意味する。本研究会はSOGIの視点で幅広い課題を検討することを目指している。研究会は2019年に立ち上げ、これまでの読書会や勉強会では、ジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』やイヴ・セジウィックの『男同士の絆ーイギリス文学とホモソーシャルな欲望ー』などを読んで、クィア映画を鑑賞し、関連論文を講読してきた。また、外部の先生をお招きし、BDSM、HIV／AIDS、LGBT運動、性の概念の歴史、クィア・コミュニティの文化、障害者の性、などテーマについて学習し、メンバー各自の研究との接点を探し、議論を深めてきた。2025年度研究会は7年目になり、今年の実践は、ジェンダー規範・健常主義に対する批判的な視点に焦点を当て、政治学、障害学、教育学、地域研究などの横断的な研究の取り組みについて、国内外の研究者と共に検討することである。

過去の活動 公開研究会のポスター一覧

立命館大学先端総合学術研究科2019年度SOGI研究会企画
2020年2月26日(水)14時～17時
立命館大学衣笠キャンパス 創思館401・402

ケア・BDSM・親密性

講師：小西真理子氏(大阪大学)



親密な関係を求める事がない人や、「普通」ではない性的嗜好を持つ人を、病気や異常者としてみなす傾向は未だに日本社会には存在する。だが逆に、セクシュアリティが生産的意味だけのものではなかった時代はごく限られているともいえる。日本社会においても「変態」は常に存在し、それに意味を付加していくために、性科学や精神分析が輸入され昇華していったと言ってもよい（『変態性欲論』）。そうした文脈から、一部では肉欲よりも精神を重視するロジックも残まり、暗黒セックスや同性愛が公共的空間で共有されていく背景には、「当人同士が愛し合っているのはよい」という「愛」やコミュニケーションにもついていた関係性重視の傾向も窺い上ってくる。「性欲とは異なる性」としてのセクシュアリティが、人格やアイデンティティの中核にある人間の要素のバリエーションの一つとして出てくる事もある。すると、「正常」なセクシュアリティから逸脱したものは性的サイエンスや性的欲求低下障害として、治療対象にされてしまうという状況も作り出される。そこから、「正常」とされるセクシュアリティに付随している性規範を、ケア、性的嗜好における暗黒的傾向（BDSM）、親密性を中心に批判的に検討していく必然性が生じる。

今回の研究会では、そうした批判的検討の一環として、BDSMを事例に小西真理子氏からご報告いただき、議論していく事にしたい。

- ・小西先生のご講演の他、関連した院生発表やディスカッションを行います。
- ・小西先生のご講演についてはご著書である『共依存的倫理』（2017年、晃洋書房）に事前にお目通しいただくと、より理解が深まるかと思えます。
- ・事前予約や参加費等は不要、途中入退場自由

立命館大学先端総合学術研究科2020年度院生プロジェクト
SOGI研究会公開研究会

性・アート・リレーションシップ

2021年2月13日(土)14時～17時
オンラインでの開催

講師：竹田恵子氏
(お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所)

「生きられる「アート」《S/N》・アイデンティティ・コミュニティ」



ご講演の他、関連した院生発表やディスカッションを行います。
★ご参加については竹田先生のご著書である『生きられる「アート」 パフォーマンス・アート《S/N》とアイデンティティ』（2020年、ナカニシヤ出版）に事前にお目通しいただくと、より理解が深まるかと思えます。

要事前申込、途中入退場自由 (https://forms.gle/WsJxcvJonbHfWwT9NA8)

立命館大学先端総合学術研究科2021年度院生プロジェクト

SOGI研究会 公開研究会

2022年2月13日 13:00-16:00(12:30開場)
ZOOM開催
※事前申込アリマス
事前申込はこちらからどうぞ



●講師:羽生有希
(国際基督教大学ジェンダー研究センター研究員)
発表テーマ:「フェミニスト現象学の継承としての『ジェンダー・トラブル』」

●研究会メンバー発表: 森祐香里
(立命館大学文学研究科日本文学専修博士後期課程)
発表テーマ:「(肉体)を思考する場としての文学ー第二次世界大戦直後日本における肉体文学研究から」

バトラーの議論を引き受けて

概要
これまでのバトラーの議論を参照しつつ、バトラーの理論を踏まえたフェミニスト現象学や文学分析との結びつけに焦点を当てて議論をする。そして、バトラーのみならず、哲学的フェミニズムの可能性、日本文学の新たな読みとしての足がかりを提供し、皆さまと議論ができればと考えている。

お問合せは gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp まで

立命館大学大学院先端総合学術研究科 2023年度院生プロジェクトSOGI研究会

プライドパレードをめぐる議論と戦略の変遷

講演：斉藤巧弥
(札幌国際大学観光学部 観光ビジネス学科)



2024年2月20日(火)13時から オンライン開催
Microsoft Teams 12時半開場
会議 ID: 466 904 257 120
パスコード: PUX6gF



事前申込なし 途中入退場自由

★ご講演の他、院生発表やディスカッションを行います。

情報保障などについてのお問合せ gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

立命館大学大学院先端総合学術研究科 2023年度院生プロジェクトSOGI研究会
Ritsumeikan University, Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences

Bear Study & Queer Geography

December 9th, 2023(Sat)
17:00~ (JST)

※ Language: English
Join us ↓ ↓ ↓



Microsoft Teams
Meeting ID: 476 405 256 903
Passwords: pG2YH8

SPEAKER
Dr. Nicholas McGlynn
University of Brighton, UK

Dr. McGlynn is a senior lecturer in Geography, School of Applied Sciences, Centre for Spatial, Environmental and Cultural Politics, Centre for Transforming Sexuality and Gender. His current research concentrates on the geographies of the GBQ men's Bear subculture.

PRESENTER Students from Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences, Ritsumeikan University

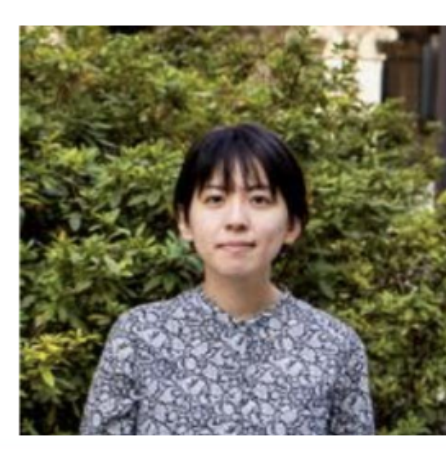
- ・Sayaka MIYAUCHI "Morbid Obesity Representations and Walking Scenes"
- ・Shanshan OUYANG "Access to the Pride Parade"

Contacts: gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

立命館大学大学院先端総合学術研究科 2024年度院生プロジェクトSOGI研究会

非二元的な性の概念の歴史を辿る 博士論文執筆のプロセス

講演者：武内今日子
(関西学院大学 社会学部助教)



2024年8月24日(土) 14時～16時
対面：立命館大学衣笠キャンパス
究論館 Room A

この講演会では、Xジェンダーやノンバイナリーといった非二元的な性の概念がいかに用いられてきたかについての博士論文の内容や執筆のプロセスについてお話しいただきます。博士論文のテーマ決め、調査の過程、投稿論文執筆・国内外での学会報告との両立、研究会への参加、助成への応募、書籍化に向けた動き、非常勤や就職活動との関係など具体的なお話から、ジェンダー・セクシュアリティ研究者がどのように博士課程を生き延びているのかを考えていきましょう。

zoom 13時半開場

会議 ID: 860 5586 8274
パスワード: 062677

事前申込なし 途中入退場自由

情報保障などについてのお問合せ gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

立命館大学大学院先端総合学術研究科 2024年度院生プロジェクトSOGI研究会
Ritsumeikan University, Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences

Research on Disability & Sexuality

January 11st, 2025(Sat)
10:00 a.m.~ (JST)

※ Language: English
Join us ↓ ↓ ↓

Zoom meeting
ID: 460 732 5624
Passwords: VP7ANb



SPEAKER
Dr. Alan Santinele Martino
University of Calgary, Canada

Dr. Martino (he/him) is a tenure-track Assistant Professor (Teaching) in the Community Rehabilitation and Disability Studies program in the Department of Community Health Sciences at the University of Calgary. His main research interests are in critical disability studies, gender and sexualities; feminist and critical disability studies theories; qualitative and community-based research (particularly participatory and inclusive research methodologies).

Contacts: gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp

當同志運動與障礙平權交織
—手天使如何用性EMPOWER障礙者—

手天使 handangel.org

2025年2月21日(金)
午後7時半～10時

※講演：台湾華語
日本語通訳・字幕通訳あり

Zoom meeting
午後7時20分に開場
ID: 919 9955 6226
Passwords: VP7ANb

講演者
鄭智偉
(Cheng Chi-Wei)

- ・台湾同志諮詢熱線協會社工主任 (台灣LGBT+ホットライン協会)
- ・障礙性權團體 (手天使) 發起人
- ・監社工督導 (障害者性的権利団体「手天使」)

登録なし・先着100名



主催：立命館大学大学院先端総合学術研究科 2024年度院生プロジェクトSOGI研究会
協賛：立命館大学国際言語文化研究所 ジェンダー研究会

今後の予定 ★読書会

クィア・スタディーズに関する文献・論文の輪読を行うことを活動の基本とする。その場、担当メンバーがレジュメを作って発表する（2ヶ月に1回）。

★講演会

読書会で検討したテキストの著者、海外の研究者を招きして、公開研究会を行う予定がある。

メール：gr0371ri@ed.ritsumei.ac.jp (OUYANG)
先端研院生プロジェクト2025スタートアップ報告会